

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立太田小学校（埼玉県）

【取組内容①】 ・ Googleチャットで投票をしてみよう！

○Googleチャットの活用

■ スーパーマーケット見学後、それぞれの児童が見つけた店の工夫をチャットに送る。

- 上位層・・・情報を発信→理解が定着、待ちが無くなる。→「教える」自信。
- 下位層・・・上位層が書き込んだ情報を吸収・定着→「たくさん書けた！」自信。
（中学校ではチャットの活用や他者参照が主流。その導入として取り入れたもの。）
- ◎ 子どもたち一人一人が活躍・フル活動をする学習へ。

■ 自分が理解したことを、自分で選択したツールで表現する。

- 見つけた工夫をもとにポップを実際に作成してみる。
（選択できるツール→・スライド・Jamboard・学習支援ツール・紙）
- 自分が表現しやすいツールを使い、理解を深める。（学習の個性化）

■ チャット内にあるリアクションの数で総選挙を行う。

- 投票やアンケートは主にGoogleフォームを活用するのが一般的であるがチャットのリアクションなら容易にできる。（低学年でも活用◎）
- △ 正確性には欠けるため、チャットの導入などで活用するのがよいか。

